

※月単位の週休2日（4週8休以上）の考え方

「月単位の週休2日（4週8休以上）」とは、対象期間内の全ての月で現場閉所した日の割合（以下「月の現場閉所率」という。）が28.5%（8日／28日）以上の場合とする。

ただし、暦上の土曜日・日曜日の合計閉所では月の現場閉所率が28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に閉所を行っている場合とする。

また、月の現場閉所率が28.5%以上であっても、閉所日数がその月の暦上の土曜日・日曜日の合計日数未満の場合は除く。

$$\text{月の現場閉所率} = \frac{\text{現場閉所を行った日数（日）}}{\text{その月の日数（日）}}$$

■月単位の週休2日（4週8休）で月の現場閉所率が28.5%に満たない例

暦上の対象月の日数 : 31日

暦上の対象月の土日の日数 : 8日

対象月の除外日 : なし

土日に現場閉所した場合の現場閉所率は $8 \div 31 = 0.2580 \dots 25.8\%$
28.5%に満たないため、現場閉所日数が暦上の土日の日数以上かどうかで判断

■月単位の現場閉所率が28.5%以上で月単位の週休2日（4週8休）にあたらない例

暦上の対象月の日数 : 31日

暦上の対象月の土日の日数 : 10日

対象月の除外日 : なし

土日に現場閉所した場合の閉所率は $10 \div 31 = 0.3225 \dots 32.2\%$
28.5%以上になるため、現場閉所に数が暦上の土日の日数以上かどうかで判断
上記の月で実際に現場閉所した日数が9日だった場合、

対象月の現場閉所率 : $9 \div 31 = 0.2903 \dots$

⇒月の現場閉所率は28.5%以上であるが、暦上の土日の日数に満たないため
月単位の週休2日（4週8休）にあたらない